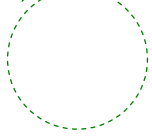


年 月 日
 税務署長
 市町村長 殿

平成〇×年分 退職所得の受給に関する申告書
 退職所得申告書



退職手当者の 当の	所在地 (住所)	〒 XXXXXXXXXX	あ な た の	氏 名	佐藤 XX (印)
	名 称 (氏名)	XXXXXXXX		現 住 所	名古屋市熱田区神宮XX丁目XX-XX
				その年1月1日 現在の住所	同上

このA欄には、すべての人が、記載してください。(あなたが、前に退職手当等の支払を受けたことがない場合には、下のB以下の各欄には記載する必要はありません。)					
A	①退職手当等の支払を受けることとなった年月日	〇×年 X月 X日	③ この申告書の提出先から受ける退職手当等についての勤続期間	年 月 日 自SOX・X・X	年 17
	②退職の区分等 一般・障害	()		生活扶助の有・無	

あなたが本年中に他にも退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このB欄に記載してください。					
B	④ 本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間	年 月 日 自 . . 至 . .	⑤ ③と④の通算勤続期間	年 月 日 自 . . 至 . .	年

あなたが前年以前4年内(その年に確定拠出年金法に基づく老齢給付金として支給される一時金の支払いを受ける場合には、14年内)に退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このC欄に記載してください。					
C	⑥ 前年以前4年内(その年に確定拠出年金法に基づく老齢給付金として支給される一時金の支払いを受ける場合には、14年内)の退職手当等についての勤続期間	年 月 日 自 . . 至 . .	⑦ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑥の勤続期間と重複している期間	年 月 日 自 . . 至 . .	年

A又はBの退職手当等についての勤続期間のうち、前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間の全部又は一部が通算されている場合には、その通算された勤続期間等について、このD欄に記載してください。					
D	⑧ Aの退職手当等についての勤続期間(③)に通算された前の退職手当等についての勤続期間	年 月 日 自 . . 至 . .	⑩ ⑤の勤続期間のうち、⑧又は⑨の勤続期間だけからなる部分の期間	年 月 日 自 . . 至 . .	年
	⑨ Bの退職手当等についての勤続期間(④)に通算された前の退職手当等についての勤続期間	年 月 日 自 . . 至 . .		⑦と⑩の通算期間	年 月 日 自 . . 至 . .

B又はCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。									
E	区 分	退職手当等の支払を受けることとなった年月日	収入金額	源 泉 徴収税額	特別徴収税額		支 払 を 受 け た 年 月 日	退職 の 区 分	支 払 者 の 所 在 地 (住所)・名称(氏名)
					市町村 民 税	道府県 民 税			
	Bの退職手当等について	年 月 日 . .	円	円	円	円	年 月 日 . .	一般 ・ 障害	
	Cの退職手当等について	年 月 日 . .	円	円	円	円	年 月 日 . .	一般 ・ 障害	

(注意) 1 この申告書は、退職手当等の支払を受ける際に支払者に提出してください。提出しない場合は、所得税の源泉徴収税額は、支払を受ける金額の20%に相当する金額となります。また、市町村民税及び都道府県民税については、延滞金を徴収されることがあります。
 2 Bの退職手当等がある人は、その退職手当等についての退職所得の源泉徴収票(特別徴収票)又はその写しをこの申告書に添付してください。